

2026年 JAごしょつがる 水稲栽培ごよみ(乾田直播)

JA 米の要件：①種子更新 100% ②水稲栽培日誌の記帳 ③農産物検査の受検

土壌診断を実施し、不足しがちなケイ酸や微量元素を補給し、適正施肥に努めましょう！

必須作業

必要に応じて

月	旬	作業内容 生育過程	播種方法		栽培の要点																																																												
			V溝	スリップローラーシーダー																																																													
前年秋			<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">代かき ※春作業時、雪解け水を使用する</div>		<p>○コーティング剤(忌避剤)/10aあたり目安使用量 キヒゲン R-2 フロアブル/140ml (乾燥種子 kgあたり原液 20ml 播種量 7kg/10aの場合)</p> <p>○施肥 ・目安窒素量：8～10kg/10a ・播種後から出芽期までの期間において、速効性窒素肥料や初期溶出型被覆尿素が脱窒流亡しやすくなるため、窒素が全量緩効性窒素肥料を使用する</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>資材名/規格</th> <th>目安使用量/10a</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ケイ酸資材(前年秋～)</td> <td>カキテツ/20kg</td> <td>2～3袋。ガスわき軽減</td> </tr> <tr> <td>直播エース/15kg</td> <td>2～2.5袋</td> </tr> <tr> <td>一発肥料</td> <td>V溝 41/20kg</td> <td>1.5～2袋。全量緩効性窒素</td> </tr> <tr> <td>ケイ酸資材(中干し後～)</td> <td>KSK28/1.4・4.2・14kg</td> <td>1.4kgで10a分 中干し後の流し込み推奨</td> </tr> </tbody> </table> <p>★排水対策は可能な限り実施する</p> <p>※V溝栽培時 ・播種同時で施肥する場合、種子と土の接地面積確保のため、全量緩効性窒素のみの商品を使用する。 ・覆土が不十分な場合、出芽の不揃いや、薬剤が種子に付着し発芽不良の要因となるため、覆土・鎮圧をしっかり行う</p> <p>○除草剤 <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>資材名・剤型</th> <th>特徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非選択性(出芽前)</td> <td>ラウンドアップマックスロード</td> <td>両剤 50 倍希釈で混用可。 希釈水量 50L 以下の場合、マーシット乳剤⇒ラウンドアップの順で混用する ※マーシット乳剤について、降雨後等で土壌が湿潤な状態下での散布は避ける</td> </tr> <tr> <td>土壌処理剤(出芽前)</td> <td>マーシット乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">選択性(播種・出芽後)</td> <td>ノミニー液剤</td> <td>播種後 10 日～北[*]15 葉期 収穫 60 日前</td> </tr> <tr> <td>トドメ MF 乳剤</td> <td>播種後 10 日～北[*]16 葉期 収穫 50 日前</td> </tr> <tr> <td>クリンチャーバス ME 液剤</td> <td>播種後 10 日～北[*]15 葉期 収穫 50 日前</td> </tr> <tr> <td>初中期一発剤</td> <td>センメツ Z FG</td> <td>稲 1 葉期～北[*]15 葉期</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">選択性(残草時)</td> <td>ロイヤント乳剤</td> <td>稲 3 葉期～北[*]15 葉期 収穫 45 日前</td> </tr> <tr> <td>ノブレット乳剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クリンチャーEW</td> <td>播種後 10 日～北[*]15 葉期 (無人航空機散布：北[*]14.5 葉期) 収穫 30 日前</td> </tr> </tbody> </table> <p>※カメムシ対策も兼ねて、本田内の雑草対策を徹底する</p> <p>○本田防除剤(液剤 使用量：0.8L/10a)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象病害虫</th> <th>資材名・剤型</th> <th>希釈倍数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いもち病</td> <td>ビームソル液剤</td> <td>6～8 倍</td> </tr> <tr> <td>いもち病・稲こじ病</td> <td>トライフロアブル</td> <td>8 倍</td> </tr> <tr> <td>紋枯病</td> <td>モンカットフロアブル</td> <td>8 倍</td> </tr> <tr> <td>いもち病・カメムシ</td> <td>ダブルカット K</td> <td>8 倍</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">カメムシ</td> <td>スタークル液 10</td> <td>8～16 倍</td> </tr> <tr> <td>エクシードフロアブル</td> <td>16 倍</td> </tr> </tbody> </table> </p>	分類	資材名/規格	目安使用量/10a	ケイ酸資材(前年秋～)	カキテツ/20kg	2～3袋。ガスわき軽減	直播エース/15kg	2～2.5袋	一発肥料	V溝 41/20kg	1.5～2袋。全量緩効性窒素	ケイ酸資材(中干し後～)	KSK28/1.4・4.2・14kg	1.4kgで10a分 中干し後の流し込み推奨	分類	資材名・剤型	特徴	非選択性(出芽前)	ラウンドアップマックスロード	両剤 50 倍希釈で混用可。 希釈水量 50L 以下の場合、マーシット乳剤⇒ラウンドアップの順で混用する ※マーシット乳剤について、降雨後等で土壌が湿潤な状態下での散布は避ける	土壌処理剤(出芽前)	マーシット乳剤		選択性(播種・出芽後)	ノミニー液剤	播種後 10 日～北 [*] 15 葉期 収穫 60 日前	トドメ MF 乳剤	播種後 10 日～北 [*] 16 葉期 収穫 50 日前	クリンチャーバス ME 液剤	播種後 10 日～北 [*] 15 葉期 収穫 50 日前	初中期一発剤	センメツ Z FG	稲 1 葉期～北 [*] 15 葉期	選択性(残草時)	ロイヤント乳剤	稲 3 葉期～北 [*] 15 葉期 収穫 45 日前	ノブレット乳剤		クリンチャーEW	播種後 10 日～北 [*] 15 葉期 (無人航空機散布：北 [*] 14.5 葉期) 収穫 30 日前	対象病害虫	資材名・剤型	希釈倍数	いもち病	ビームソル液剤	6～8 倍	いもち病・稲こじ病	トライフロアブル	8 倍	紋枯病	モンカットフロアブル	8 倍	いもち病・カメムシ	ダブルカット K	8 倍	カメムシ	スタークル液 10	8～16 倍	エクシードフロアブル	16 倍
分類	資材名/規格	目安使用量/10a																																																															
ケイ酸資材(前年秋～)	カキテツ/20kg	2～3袋。ガスわき軽減																																																															
	直播エース/15kg	2～2.5袋																																																															
一発肥料	V溝 41/20kg	1.5～2袋。全量緩効性窒素																																																															
ケイ酸資材(中干し後～)	KSK28/1.4・4.2・14kg	1.4kgで10a分 中干し後の流し込み推奨																																																															
分類	資材名・剤型	特徴																																																															
非選択性(出芽前)	ラウンドアップマックスロード	両剤 50 倍希釈で混用可。 希釈水量 50L 以下の場合、マーシット乳剤⇒ラウンドアップの順で混用する ※マーシット乳剤について、降雨後等で土壌が湿潤な状態下での散布は避ける																																																															
土壌処理剤(出芽前)	マーシット乳剤																																																																
選択性(播種・出芽後)	ノミニー液剤	播種後 10 日～北 [*] 15 葉期 収穫 60 日前																																																															
	トドメ MF 乳剤	播種後 10 日～北 [*] 16 葉期 収穫 50 日前																																																															
	クリンチャーバス ME 液剤	播種後 10 日～北 [*] 15 葉期 収穫 50 日前																																																															
初中期一発剤	センメツ Z FG	稲 1 葉期～北 [*] 15 葉期																																																															
選択性(残草時)	ロイヤント乳剤	稲 3 葉期～北 [*] 15 葉期 収穫 45 日前																																																															
	ノブレット乳剤																																																																
	クリンチャーEW	播種後 10 日～北 [*] 15 葉期 (無人航空機散布：北 [*] 14.5 葉期) 収穫 30 日前																																																															
対象病害虫	資材名・剤型	希釈倍数																																																															
いもち病	ビームソル液剤	6～8 倍																																																															
いもち病・稲こじ病	トライフロアブル	8 倍																																																															
紋枯病	モンカットフロアブル	8 倍																																																															
いもち病・カメムシ	ダブルカット K	8 倍																																																															
カメムシ	スタークル液 10	8～16 倍																																																															
	エクシードフロアブル	16 倍																																																															
3月	中下	圃場整備～ 播種準備	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">種子準備(浸種、コーティング等) ※種子伝染性の病害防除のため、必ず種子消毒を行う。目安浸種期間は積算水温 100℃</div>																																																														
4月	上		<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;">施肥(一発肥料、等)</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">耕起・整地</div>																																																														
4月	中	播種作業 種子	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">排水対策(明渠、溝堀機等)</div>																																																														
4月	下		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">播種 ※目安播種量(乾粒換算)：5～7kg/10a</div> <p>○同時可能作業 V溝：施肥(全量緩効性窒素) スリップローラーシーダー：施肥、耕起、鎮圧</p>																																																														
5月	上	出芽	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">鎮圧(ケンブリッジローラー) ※覆土・鎮圧が不十分な場合</div>																																																														
5月	中		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">除草剤散布(雑草多発ほ場。出芽前：非選択性除草剤、土壌処理剤)</div>																																																														
5月	下		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">除草剤散布(播種後～出芽後：選択性除草剤)</div>																																																														
6月	上	2葉期	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">入水</div>																																																														
6月	中	活着期	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">除草剤散布(入水後：初中期一発剤等)</div>																																																														
6月	下	分けつ期																																																															
7月	上	穂首分化期 幼穂形成期																																																															
7月	中																																																																
7月	下	穂ばらみ期	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">いもち病対策</div>																																																														
8月	上	出穂期	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">カメムシ対策①</div>																																																														
8月	中	登熟期	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">カメムシ対策②</div>																																																														
8月	下																																																																
9月	上	収穫																																																															
9月	中																																																																
9月	下	秋耕	<p>★わら焼き防止の徹底</p> <p>・わら焼きの煙は、人の健康を害し、交通の妨げ、誘致企業の操業や観光産業等の社会活動への障害となるので稲わらは絶対に焼却しない。</p> <p>・稲わらは、堆肥や家畜の飼料等へ有効活用するほか、腐熟促進資材を散布後、秋のすき込みを積極的に行う。</p>																																																														
10月	上																																																																
10月	中																																																																
10月	下																																																																